

高知県高齢者保健福祉計画・第9期介護保険 事業支援計画に関する令和8年度の取り組み について

高知県子ども・福祉政策部

高知県健康政策部

長寿社会課
地域福祉政策課
在宅療養推進課

目指す姿

要介護状態の原因となるフレイルを予防し、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと自立した生活を送ることができる



KPI	基準値	現状値	目標値(R9)
【第2階層】 新規要支援・要介護認定者の平均年齢	82.7年 (R3)	82.8年 (R6)	83.5年
【第2階層】 生きがいづくりや介護予防のための通いの場の参加率	6.5% (15,996人) (R3)	7.4% (17,963人) (R5)	9% (21,300人)
新 【第1階層】 住民主体のフレイル予防活動に取り組む市町村数	4市町 (R5)	5市町村 (R7)	10市町村

現状と課題

普及・啓発／実態把握

- 現状
 - ・県内の健康づくり支援薬局によるフレイルチェックアプリの啓発を実施 フレイルチェックアプリを活用した延人数10,239人(R5.10～R7.10現在)
- 課題
 - ・フレイル予防を自分事化するためにも、フレイルチェックを健診以外の場に拡大し、リスクがある高齢者を幅広く早期に発見し、介入することが必要



ポピュレーションアプローチ（住民主体）

- 現状
 - ・全市町村でフレイル予防に関する啓発活動を実施
 - ・全市町村で介護予防に資する通いの場を整備
 - ・フレイルサポーターによるフレイルチェックの取り組みを5市町村で実施
- 課題
 - ・高齢化により住民の担い手が不足、地域住民による新たな活動の掘り起こし支援が必要

ハイリスクアプローチ

- 現状
 - ・要介護状態となることを遅らせる機能回復訓練の場を20市町村で整備
- 課題
 - ・機能回復訓練の取り組みを効果的・効率的に実施するためには、ニーズと提供サービスを含めた地域資源の活用について整理し、事業を組み立てることが必要

第5期構想（R6～R9）で目指す姿（イメージ）

普及・啓発／実態把握

- フレイルのリスクがある高齢者を幅広く早期に発見・介入するため、フレイル予防についての啓発とフレイルチェックを実施

ポピュレーションアプローチ（住民主体）

- フレイルリスクの低い高齢者が心身の状態を維持するため、住民主体のフレイル予防活動の拡大に向けて支援

ハイリスクアプローチ

- フレイルリスクの高い高齢者が要介護状態となることを防ぐため、機能回復訓練の場を全市町村に整備

目指す姿

- フレイルのリスクがある高齢者を早期発見・介入し、予防することで、要介護状態となることを防ぐ

【フレイルを予防する仕組みづくり】



令和8年度の取り組み

(1) 関係機関との協働によるフレイル予防活動の展開

- ・高知家健康づくり薬局との協働によるフレイルチェックアプリの普及
- ・専門職団体と連携したオンライン介護予防教室の開催

(2) 住民主体のフレイル予防活動の支援

- ・新たな住民活動を支援するための研修会の開催
- 拡** 住民主体のフレイル予防活動に興味のある市町村を中心にフレイル測定活動を普及
- ・フレイルサポーター養成の取り組みへの講師の派遣を実施

(3) 機能回復訓練の場の活用を支援

- ・アドバイザーによる市町村の伴走支援を通じて、機能回復訓練の場の活用を推進

目指す姿 認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って住み慣れた地域で安心して暮らすことができる



KPI	基準値	現状値	目標値 (R9)
【第1階層】認知症サポーター数	71,570人 (R5.12)	77,802人 (R7.12)	85,000人
【第1階層】かかりつけ医認知症対応力向上研修受講率	30.7% (R5)	31.7% (R7.10)	50%
【第1階層】チームオレンジなどの支援活動を有する市町村数	24市町村 (R5.7)	31市町村 (R7.11)	全市町村

現状と課題

自分ごととして理解

- ・認知症サポーター数: R元.3→R6.3 13,530人増加
- ・高知家希望大使の活動: 講演支援52回 (R4~R6)
- 認知症サポーター養成講座や新聞広告等による様々な本人発信も実施

課題

- ・「新しい認知症観」※に基づく知識や理解促進が社会全体に広がるよう、社会や学校教育等の幅広い分野において協力者が必要

※「新しい認知症観」とは、認知症になってからも個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間とつながりながら、希望を持って暮らし続けることができるという考え方

早期に気づき必要な支援へ

- ・かかりつけ医の認知症対応力の向上研修受講者数 553人 (R7.10月末時点)
- ・BPSD※など症状の増悪に伴う急な入院や入所が必要となる場合に受入先の確保が難しい場合がある

※BPSDとは、脳の機能低下によって二次的に起こる症状。妄想、暴言、徘徊、抑うつ等

課題

- ・認知機能低下を早期に発見し、増悪する前に円滑な支援に繋ぐ仕組みが必要



地域での協働

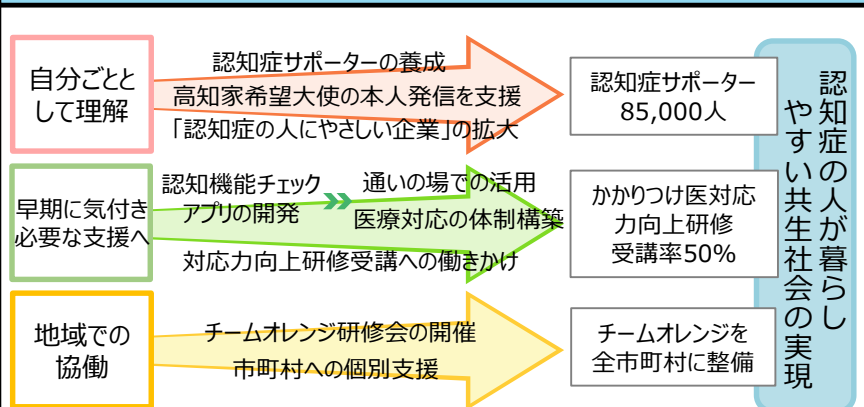
- ・認知症カフェはほぼ全市町村まで拡大
- ・認知症疾患医療センターの診断後支援におけるピアサポート活動の開始 (R6~)
- ・チームオレンジ等の整備 31市町村 (R7.11月末)



課題

- ・本人やその家族が孤立することなく、必要な社会的支援とつながり、地域住民等とともに活動する場や機会が必要

第5期構想 (R6~R9) で目指す姿 (イメージ)



令和8年度の取り組み

(1) 自分ごととして認知症を理解する

- ・普及啓発パンフレットや新聞広告等を活用し、地域住民・企業（就労含む）・教育関連等県全体への『新しい認知症観』に立った理解促進を図る。
- ・認知症サポーター養成講座や研修会等での認知症のご本人やそのご家族による発信を支援

(2) 認知症に早く気づき必要な支援につなげる

- ・受講しやすい環境整備（オンデマンド受講）によるかかりつけ医の認知症対応力向上研修受講者の更なる増加を目的とした個別アプローチ等の周知強化
- ・通いの場等でのフレイルチェックアプリの周知を実施

(3) 安心して幸せに暮らすために協働する

- ・**抜** 切れ目ない支援や本人の社会参加活動の場の整備が促進されるよう、診断後支援の重要性やピアサポート活動等について市町村・専門職等に向け、勉強会を実施



目指す姿 中山間地域を含め、在宅での生活を希望される方が必要なサービスを受けられる

KPI	基準値	現状値	目標値(R9)
新 【第2階層】受給者1人当たり月平均利用回数（訪問介護）	15.8回（R6）	16.3回（4～8月）	20回
【第1階層】中山間地域介護サービス確保対策事業費補助金活用市町村数	19市町村（R4）	22市町村（R7）	全市町村
【第1階層】ICTを活用した高齢者見守りネットワークを整備している市町村数	10市町村（R4）	14市町村（R7）	15市町村

現状と課題

- 認知症高齢者や独居高齢者などの要介護高齢者の増加が見込まれることから、在宅で安定的に生活し続けられる介護サービスの確保が必要
- 中山間地域では、利用者が点在しておりサービス提供の効率が悪いと、経営面での不利があり事業者が参入しづらい。加えて、職員の確保も厳しい状況にあり、必要となるサービス提供量を確保するには、市部と中山間部の事業者間の連携等によるサービス提供体制の強化が必要
- 要介護状態でも地域で日常生活をおくるためには、地域住民や多様な主体による介護予防や生活支援、地域の支え合い活動の充実が重要
- 介護サービスが充足していない地域では、総合事業※を弾力的に展開し、高齢者を含む地域の多様な人材や資源を活用した生活支援の仕組みづくりが必要

※介護保険制度における「介護予防・日常生活支援総合事業」

市町村が中心となり、地域の実情に応じて多様な主体が参画して地域の支え合いの体制づくりを推進し、要支援者の方に対する効果的かつ効率的な支援活動を可能とすることを目的とした事業

地域の実情に応じた介護サービス提供体制の確保

【介護事業所の加算取得への支援】

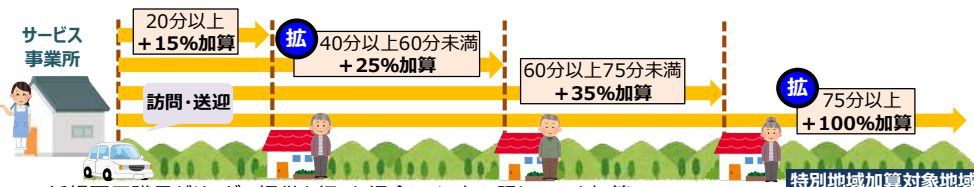
○介護職員等処遇改善加算実績（R7.10.1時点）

○中山間地域等小規模事業所加算（R7.8.19時点）

事業所数 A	処遇改善加算						未取得
	I	II	III	IV	計 B	(%) B/A	
1,216	503	313	204	69	1,089	89.6	127

対象事業所数	取得	未取得
45	9	36

【中山間地域介護サービス確保対策事業】



※ 新規雇用職員がサービス提供を行った場合には1年に限り5%を加算

※ 居宅介護支援事業所及び訪問介護事業所が新規雇用職員に一時金と転居費用を支給した場合に補助

令和8年度の取り組み

（1）中山間地域等における訪問介護サービス提供体制の確保

拡 介護事業所の加算取得への支援（事業者団体等と連携した加算取得に向けた実践セミナーを開催し、各種加算の申請作業に関するきめ細かな助言等の支援を実施）

- 中山間地域に居住する利用者に対して遠方からサービスを提供する介護事業所への支援（**拡** 移動時間片道40分以上60分未満の補助対象区分の創設（25%加算）、75分以上の加算率の引き上げ（50%→100%）、船賃の補助）
- 市町村における地域の人材や社会資源を活用した多様な主体による生活支援の仕組みづくりを支援するため、アドバイザーによる伴走支援の実施
- 中山間地域等に所在する訪問介護事業所が行う新規雇用職員への一時金等支給に対する助成

拡 事業者の協働化の取り組みへの支援（アドバイザーによる支援）

（2）地域包括支援センターの機能強化

- 生活支援コーディネーターと連携した多様な主体による生活支援体制の構築に向けて職員研修を充実
- ICTを活用した在宅高齢者の見守り体制の構築を支援

目指す姿

職員が「働きやすさ」と「やりがい」を実感できる魅力ある福祉・介護職場となっている地域に必要な福祉・介護職員が確保され、多様な人材が支え手となって活躍している



KPI	基準値	現状値	目標値(R9)
新 【第2階層】 介護分野での有効求人倍率	2.43 (R6)	2.34 (R7.1~10月)	2.12
【第1階層】 介護事業所のICT導入率 ※想定値	42.3%	51.7% (R7)	60%
【第1階層】 認証福祉・介護事業所数	223事業所 (R6.3)	228事業所 (R7)	550事業所
【第1階層】 学校の福祉教育の実施回数 (福祉人材センター)	年間27回 (R4)	69回 (R7)	年間40回

現状と課題

- 福祉・介護人材の確保に向けて、デジタル化等による介護現場の生産性の向上、人材育成体制やキャリアパスの構築（職員が段階的にスキルアップしながら長く活躍できる職場づくり）、ネガティブイメージの払拭に向けた魅力発信、介護助手や外国人など多様な人材の参入促進などを総合的に展開
- 若手職員の所得向上にもつながる、①加算取得の促進、②デジタル化や協働化による生産性の向上、③職員の定着促進に取り組むにあたり
 - ▶ 取得可能な各種加算の確実な取得をサポートするため、具体的な助言や申請作業等に関する実践的な支援が必要
 - ▶ デジタル化や協働化を進めるためのノウハウが不足
 - ▶ 職員が長く働きつづけられる良好な職場環境の整備に取り組む事業所を県が認証しているが、認証取得の動機付けが弱く、取得の動きが停滞

令和8年度の取り組み

1 介護現場の生産性の向上

- こうち介護生産性向上総合支援センターによる事業所への伴走支援
- ICT・ロボット等導入経費に対する助成
- 拡** 事業者の加算取得への支援（事業者団体等と連携した実践セミナーの開催）
- 拡** 事業者の協働化の取り組みへの支援（アドバイザーによる支援）

2 人材育成・キャリアパスの構築

- 拡** 福祉・介護事業所認証評価制度のさらなる推進（補助金の優先採択や研修費助成など事業者のメリット拡充）
- 新** 介護支援専門員（ケアマネジャー）の育成と確保（相談窓口・復職支援・研修の実施）

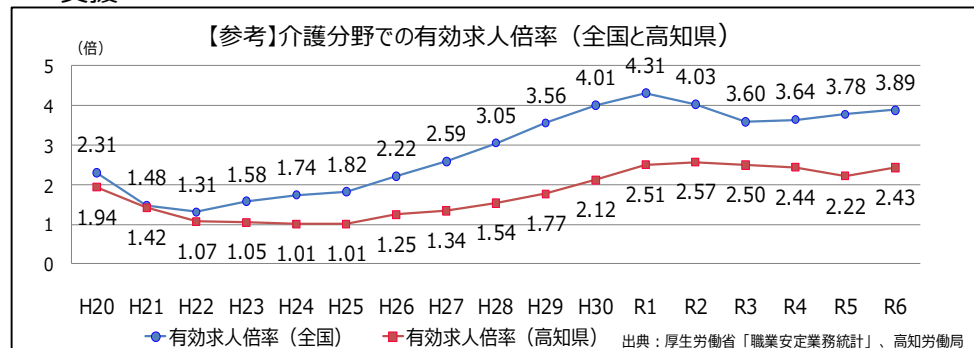


3 若い世代に向けた魅力発信（ネガティブイメージの払拭）

- 介護のしごとの魅力と誇りの発信（ふくしフェアの開催、PR動画配信等）
- 拡** 小中高校生への情報発信の強化（福祉系高等教育機関のPR）
- 福祉関係者と学校が連携した福祉教育の推進

4 多様な人材の参入促進

- 拡** 外国人介護人材の受入に関するセミナーの開催（監理団体や登録支援機関との連携）
- 外国人介護人材への日本語学習や海外現地での人材確保の取り組みへの支援



目指す姿 どの市町村においても在宅医療やオンライン診療を選択できる環境が整備されている



KPI	基準値	現状値	目標値(R9)
【第2階層】 オンライン診療の年間実施件数	222件 (R5.4-9)	744件 (R6)	4,000件
【第2階層】 在宅患者訪問診療料の算定件数（後期高齢者）	66,045件 (R4)	64,601件 (R5)	72,000件
【第1階層】 へき地等の集会所及び診療所の活用を含めたオンライン診療体制が構築されている市町村数	7市町 (R5.9)	13市町村(R7.10)	34市町村

現状と課題

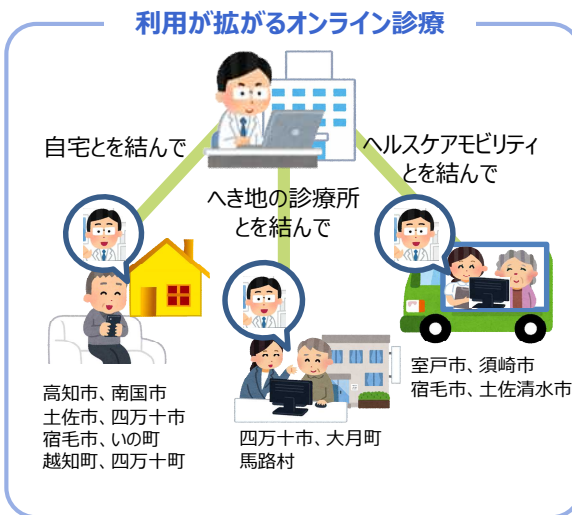
1. オンライン診療の状況

・オンライン診療は自宅に加えて、へき地の診療所やヘルスケアモビリティでも受診できる機会が増えている

届出医療機関：67カ所 (R7.10)

<課題>

- ・医療機関において、オンライン診療に必要な通信機器等の整備や、看護師が患者のそばで診療補助を行う場合のコスト負担が課題
- ・対面診療にオンライン診療を組み合わせるノウハウが少なく実施に至らない
- ・オンライン診療は、負担と制約がかかる割には医療機関にとってインセンティブ（診療報酬等）が少ないため取り組みに消極的



2. 日常の療養支援

・在宅療養の状況

※1 算定件数、後期高齢者のみ（件/年）
※2 介護保険（回/年）

年	R3	R4	R5
訪問診療料※1	70,756	66,045	64,601
訪問看護訪問回数※2	308,520	342,984	389,169

<課題>

- ・各圏域の主要医療機関で入退院支援指針を活用した入退院支援体制を構築しているが、人材の異動等があることから、体制維持が課題

第5期構想（R6～R9）で目指す姿（イメージ）

オンライン診療体制構築のロードマップ案

年度	～R5	R6	R7	R8	R9
市町村数	7	10	13	31	34
市町村名	高知市、南国市、土佐市、四万十市、宿毛市、いの町、四万十町	室戸市、大月町、須崎市	馬路村、越知町、土佐清水市	計画市町村数	

令和8年度の取り組み

(1) 医療DXの推進

- ・オンライン診療に必要な機器や看護師派遣にかかる経費への支援
- ・デジタルヘルスコordinatorによるオンライン診療体制構築への支援
- ・アンケート調査に基づくオンライン診療に関心がある医療機関への導入に向けた提案と支援

(2) 日常の療養支援

- ・入退院支援マニュアルを医療機関に共有し、支援の仕組みを維持

目指す姿 重度の要介護者や傷病者等であっても住み慣れた地域で訪問看護サービスを受けられるようにする



KPI	基準値 (R4)	現状値	目標値 (R9)
【第2階層】 要介護 3～5 の訪問看護サービス利用者数 (介護保険) (H28・689人/月→H30・815人/月→R2・931人/月→R4・1,068人/月)	1,068人/月	1,190人/月 (R7.9)	1,320人/月
【第1階層】 訪問看護師の従事者数 (H28・280人→H30・334人→R2・364人→R4・470人、衛生行政報告例より)	470人	544人(R6)	622人

現状と課題

<現状>

- ・ 訪問看護ステーションは111箇所(R7.4月)、訪問看護師の従事者数は544人(R6)まで増加しているが、地域偏在は拡大しており、対策が必要
- ・ 今後、在宅サービスを必要とする後期高齢者が増加するのは高知市近辺
- ・ その他の地域は後期高齢者も横ばい圏内(嶺北地域では既にピークアウト)
- ・ この10年において、訪問看護は一貫して増加、訪問介護は一貫して減少傾向にあり、数年でシェアが逆転する状況

<課題>

高知市近辺	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、サービス量としては一定充足している ・ 一方で、今後、後期高齢者の増加及び若年人口が社会減とあいまって急減する中、サービス量を確保する必要
その他の地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高知市近辺からのサービス供給が、需要拡大により供給減となる可能性がある ・ そのため、施設サービスを維持しつつ、可能な範囲で在宅サービスを提供できる体制を確保する必要

第5期構想 (R6～R9) で目指す姿 (イメージ)

	訪問看護サービス量の確保	訪問看護の質の向上
課題	・ 訪問看護ステーションの約 8 割が中央圏域に集中	・ 訪問看護師育成講座の未受講理由：経営面での負担、人材不足(長期間の研修受講が困難)
対策	・ 遠距離訪問への助成により高知市近辺から中山間地域等へのサービス提供を支援	・ オンライン受講可能な講座の拡大 ・ 受講者の人件費支援対象拡大
目標	・ 要介護 3～5 の訪問看護サービス利用者数 (介護保険)の増 1,320人/月(R9)	・ 訪問看護師の従事者数の増 622人(R9)

令和 8 年度の取り組み

(1) 訪問看護サービス量の確保

- ・ 遠距離訪問への助成により高知市近辺から中山間地域等へのサービス提供を支援

(2) 訪問看護の質の向上

- 拡** ・ 訪問看護師育成講座について、オンライン受講など柔軟な受講環境の整備及び1科目から受講できる講座の拡大
- 拡** ・ 受講者の所属ステーションへの人件費補助の対象を拡大(新卒者枠、中山間枠に加え全域枠を対象に追加)



目指す姿 複合課題への対応力が向上するとともに、地域のつながりや支え合いの力が高まり、孤独を感じる人が減っている

KPI	基準値	現状値(R7)	目標値(R9)	KPI	基準値(R5)	現状値(R7)	目標値(R9)
新 【第2階層】多機関協働による支援につながったケース件数	96件(R6)	130件(見込)	165件	【第2階層】社会活動参加率	43.2%	48.3%	50%
【第2階層】地域の支え合いの力が弱まっていると感じる人の割合	53.9%(R3)	41.7%	50%以下	【第1階層】高知家地域共生社会推進宣言企業・団体数	56	95	100

現状と課題

行政主体の「たて糸」

- 市町村長訪問や研修等を通じて、国の重層的支援体制整備事業を活用した包括的な支援体制の整備の取組が拡大している一方、重層事業の交付基準額の減少や交付金事務の負担増加を懸念して、事業実施を躊躇する市町村がある。
- 重層事業実施の有無に関わらず、市町村において体制整備を進めることができるよう、取組状況や課題に応じた伴走支援を行う必要がある。

地域主体の「よこ糸」

- オール高知の取り組みとして高知家地域共生社会推進宣言企業・団体は増加(R7末:95)しているが、県民の行動につなげていくには、さらなる理解促進と参画意識の醸成が必要。
- 「つながり」を実感できる地域づくりのさらなる推進に向け、宣言企業・団体の活動活性化、連携促進(孤独・孤立対策PF(プラットフォーム)の活用)が必要。

令和8年度の取り組み

(1) 多機関協働型の包括的な支援体制づくり (たて糸)

- 拡** ○ 支援体制の取組状況や成果を定期把握、可視化しつつ、好事例を横展開することで、県全体の支援体制を強化
- 拡** ○ 県社協と連携した後方支援（各種研修の統合やオンライン開催、多分野や市町村同士の連携促進による支援者支援）
- 拡** ○ 防災との連携による平時から災害を見越した体制の構築

(2) 「つながり」を実感できる地域づくり (よこ糸)

① 人と人とのつながりの再生に向けた支援ネットワークづくり

- ソーシャルワークの網の目構築プロジェクトの推進
- 拡** ○ 孤独・孤立対策PF等を活用した地域活動の事例共有・横展開
➢ 「地域共生社会講座」等を活用した県民・企業の理解促進
- 高知家地域共生社会推進宣言企業・団体の活動の活性化
- 新** ○ 新たな地域活動の創出等に取り組む宣言企業・団体を支援
- 地域の消防団への見守り活動参画の呼びかけ

② 地域資源を活用した居場所や社会参加の場の拡大

- 拡** ○ 【高齢】住民主体のフレイル予防活動の推進
(KPI:住民全体のフレイル予防活動に取り組む市町村数:10市町村 (R9))
- 【高齢】多様な主体による生活支援の仕組みづくり
- 【障害】農福連携支援会議を核とした障害のある人等の就労支援の充実
(KPI:農業分野で就労する障害のある人等延べ2,920人 (R9))
- 【子育て】子育て世帯の孤立感や負担感の軽減に向けた子ども食堂の取組への支援
(KPI:設置箇所数:150箇所 (R9) (R8.1月末:123箇所))

③ 県民の理解促進と参画意識の醸成

- ポータルサイト等を通じた地域活動の事例紹介

高知型地域共生社会の実現に向けた取り組みイメージ

柱1 行政主体の「たて糸」 多機関協働型の包括的な支援体制

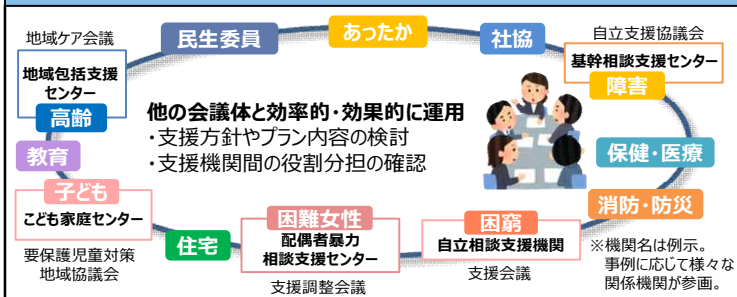


柱2 地域主体の「よこ糸」

「つながり」を実感できる地域づくり

- 1 人と人とのつながりの再生に向けた支援ネットワークづくり
- 2 地域資源を活用した居場所や社会参加の場の拡大
- 3 県民の理解促進と参画意識の醸成

多機関協働による「支援体制」 ※既存制度の会議体を活用可能。



目指す姿

つながり、支え合う「高知型地域共生社会」の拠点としてあったかふれあいセンターが、高齢者だけでなく、子どもや障害のある方、ひきこもりの方など幅広い世代に多用途で活用されている

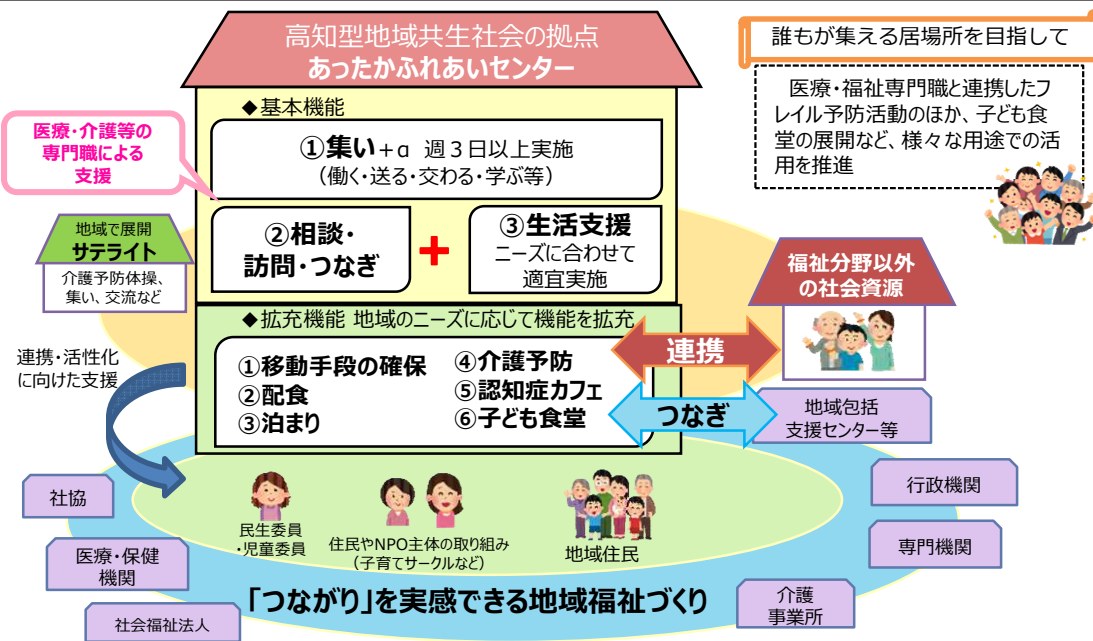


KPI	基準値	現状値(R7.12末見込み)	目標値(R9)
【第1階層】地域の居場所としての参加人数（あったかふれあいセンター機能のうち、集い+交わる+学ぶの参加者実人数）	15,130人（R4）	16,544人	20,000人
【第1階層】あったかふれあいセンター「相談」のべ利用件数増	2,207件（R5）	1,901件	2,480件

現状と課題

- あったかふれあいセンターの設置 31市町村55拠点243サテライト（R7）
- 利用者の約6割が高齢者のため、子どもや障害のある方、ひきこもりの方など幅広い層で活用されるよう、取組事例の共有や周知が必要
- 地域課題の複雑化・複合化により支援ニーズが多様化していることから、福祉分野以外の社会資源との連携が必要
- 担い手の確保や利用者の拡大を図るため、あったかふれあいセンターの認知度を高めることが必要

第5期構想（R6～R9）で目指す姿（イメージ）



令和8年度の取り組み

(1) 幅広い世代に利用される拠点としての活動

- 好事例の横展開のため、センター職員同士の交流会を開催
- ② あったかふれあいセンターを通じた利用者アンケートを実施し、利用者ニーズを把握することで、さらなるサービスの向上を図る

(2) 地域の支え合いの体制強化

- ② 福祉分野以外の社会資源との連携を図るため、人材交流など顔の見える関係づくりを支援

(3) 支え合いの担い手確保

- 複雑化・複合化した課題に対応する支援スキルの向上を図る研修を実施
- あったかふれあいセンターの認知度向上に向けた広報活動（広報動画を活用した新聞・SNS広告等の実施）